



週刊

# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754  
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>  
共産党控室メール [kyousan@city.yachiyo.chiba.jp](mailto:kyousan@city.yachiyo.chiba.jp)



第351号

2018年2月5日

発行

日本共産党  
八千代市議会議員団

八千代市大和田新田  
312-5

## 3期連続で後期高齢者保険料の値上げ

2月14日（水）に後期高齢者医療広域連合議会が開かれ、11件の議案が審議されます。議案第7号「保険料率の改定に伴う条例の改正」（案）は、3期連続で保険料を上げることになる内容のものです。高齢者への負担がますます重くなる議案がこうも簡単に上程されてよいのでしょうか。

### 所得割軽減の廃止で低所得者に大幅な負担増

後期高齢者医療保険料は、2年に1度見直しをすることになっています。今回は、平均で600円の値上げに留まるとしてありますが、4年前には1,064円、2年前には2,489円と大幅に値上げされています。平均600円の値上げの中身を見ると、1万円近い値上げになる人など低所得の年金生活者にとって生活破壊の負担増となっており、到底認めることはできません。

今回、均等割額の2割・5割軽減の幅を拡大することで4,212人の方が年間の保険料が5千円から1万2千円の減額となりますが、一方で所得割額の軽減が廃止されることにより、夫婦二人の年金が211万円以下の方では、9,600円もの増額となるのをはじめ、低所得者の方々でも、2,400円、6,800円の値上げとなっています。



### 「懇談会」では金額も示されないまま値上げを追認

広域連合は議会に上程する前に懇談会という場が設定され、保険料の値上げについて説明をしています。参加する委員の中には医師や看護師の代表や被保険者の代表などいますが、そこで配布された資料には、今回値上げすることは書かれていても、金額の提示はありません。懇談会の座長である委員長は、「保険料の微増はやむを得ない」と発言し、懇談会の中で意見を述べる人は皆無であり、議論は全くありませんでした。

さらに、広域連合議会の議案説明でも、均等割額の軽減拡大の説明はあっても、所得割額の廃止の説明はなく、書かれていたのは最終ページの最後の一行のみでした。

広域連合の議会議員として日本共産党は、生活破壊の値上げは絶対に認めることはできません。14日の議会で追及致します。